

令和 7 年
第 4 回町議会定例会

行 政 報 告

(令和 7 年 1 1 月 2 7 日)

幕別町長 飯田 晴義

令和7年第4回町議会定例会が開催されるに当たり、この1年間、町政各般にわたり、議員の皆様から賜りました温かいご指導とご協力に対しまして、心から感謝とお礼を申し上げます。

令和7年も残すところ、あと、ひと月余りとなりました。

今年は2月の記録的な大雪に始まり、春先の不安定な天候、夏場の高温少雨に加え、9月には線状降水帯の発生に伴う大雨と強風、11月には暴風による災害に見舞われたところではありますが、本町でも農業関係施設や道路などで被害が出たものの、心配された農作物は概ね平年並みの作況となったところでもあります。

おかげさまで現在、アイヌ文化拠点空間施設やあかしや南団地公営住宅の建設、義務教育学校や認定こども園の改修等も予定どおり進み、その他の各種施策や事業等につきましても、議会をはじめ、町民の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、計画どおり順調に進められてきたものと考えており、ここに改めて感謝を申し上げます。

以下、当面する行政の執行につきまして、ご報告をさせていただきます。

（暴風による被害について）

はじめに、暴風による被害について申し上げます。

11月1日、前線を伴った低気圧の影響により、十勝中部地域に暴風警報が発表され、池田観測所においては観測史上最大を更新する最大瞬間風速30.2メートルを記録したところでもあります。

この影響を受け、本町においても強風による倒木被害が発生し、明野ヶ丘公園や幕別運動公園などの公園で5施設、札内南コミュニティセンターや幕別小学校、白人小学校などの公共施設で6施設、町道幕別札内線をはじめとする町道8路線において、合計46本の倒木が確認されたところでもあります。

また、幕別中学校体育館及び旧幕別みどり保育所においては、屋根のトタンが強風にあおられ剥離する被害が発生したところでもあります。

これらの被害につきましては、強風が収まった後、倒木は速やかに除去するととも

に、剝離したトタン屋根については応急工事が完了したところであり、本復旧に向けた詳細な調査を行っているところであります。

（福祉灯油の実施について）

次に、福祉灯油の実施について申し上げます。

国際的な原油価格の高値、円安により、本年度も灯油価格が高値水準にあることから、低所得者世帯などの生活の安定を図るため、本定例会に福祉灯油の実施に要する補正予算案を提出したところであります。

本事業は、本町に住所を有する生活保護世帯、本年度の町民税非課税世帯であって満65歳以上の高齢者世帯や身体・知的・精神に重度の障がいのある方がいる世帯など2,210世帯を対象に、現金1万円を支給するものであります。

（幕別町電子地域通貨「まくP a y」のキャンペーン実施について）

次に、幕別町電子地域通貨「まくP a y」のキャンペーン実施について申し上げます。

米をはじめとした食料品や生活必需品、燃料費の高騰が続いており、年末の家計に与える影響は深刻であります。

こうしたことから、物価高騰対策として、幕別町商工会が運営しております幕別町電子地域通貨「まくP a y」について、12月1日から令和8年1月7日までの利用額の30パーセント相当分を上限としてポイント還元する緊急経済支援を行う予定としており、本定例会に実施に要する補正予算案を提出したところであります。

（新年度予算編成の取組について）

次に、新年度予算編成の取組について申し上げます。

国は、「経済財政運営と改革の基本方針2025」、いわゆる骨太の方針2025において、令和8年度予算編成に向けた考え方として、賃上げ政策こそが成長戦略の

要という基本的な考え方の下、現在及び将来の賃金・所得が継続的に増加する「賃上げを起点とした成長型経済」の実現を目指すとしており、加えて、人材希少社会において、国民の不安を取り除き、公教育の充実、自己実現を可能とする環境の整備、地方創生等により、人中心の国づくりを進め、人財尊重社会を築くとしております。

また、令和7年度補正予算における「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」については、今後、使途が明らかになり次第、直ちに活用方法を検討することとしており、年明けから、令和8年度予算に引き続く2か年に渡る切れ目のない支援をすべく、予算編成をしてまいります。

町の新年度予算編成につきましては、年末に向けて予算編成作業が本格化いたしますが、多数の大型事業を計画していることを踏まえ、骨太の方針に基づき今後示される国の予算案や地方財政計画、地方債計画など国の動向を十分注視した上で、地方財政に関する施策の情報収集に努めるとともに、社会経済などの先行きを見据え、町民のニーズに対応した予算の編成に努めてまいりたいと考えております。

（第5次幕別町行政改革大綱の策定について）

次に、第5次幕別町行政改革大綱の策定について申し上げます。

本町では、社会経済情勢の変化に対応し、簡素にして効率的な町政の実現を図るために「幕別町行政改革大綱」を策定しており、令和3年度を始期とする第4次幕別町行政改革大綱後期推進計画が令和8年3月末で計画期間が終了となることから、現在、内部の行政改革推進本部会議で原案の検討を進めているところであります。

今後、12月中旬に開催予定の附属機関である幕別町行政改革推進委員会に諮問し、答申後、1月下旬に議員の皆様にご説明させていただいたうえで、パブリックコメントを経て、3月末に策定を終える予定としているところであります。

（農作物の作況について）

次に、本年の農作物の作況について申し上げます。

本年は、春の植付け期に不順な天候が続き、6月下旬から8月にかけては高温少雨の環境が続きました。

さらに9月には線状降水帯の発生に伴う大雨と強風に見舞われるなど、一部の作物において収量及び品質の低下が見られましたが、作物全体としては平年並みとなる見込みであります。

主な農作物の作況につきましては、秋まき小麦は1等の割合が高く、製品反収も10.6俵と、平年を上回る結果となりました。

豆類については、小豆において収量の低下が見込まれるものの、大豆においては平年を上回る見込みであります。

他方で、馬鈴薯については、全体として小玉傾向にあり、特に食用馬鈴薯は、収量は平年に比べて少なくなる見込みであり、てん菜については、褐斑病などの発生は見られましたが、防除の徹底によりまして、収量は平年並み、糖度は14.9%と平年と比べるとやや低くなる見込みとお聞きしております。

また、飼料作物については、牧草、飼料用とうもろこしのいずれも収量及び品質ともに平年並みとなる見込みであります。

(公共工事の発注状況について)

次に、公共工事の発注状況について申し上げます。

11月20日現在における公共工事の発注済額は、68億8,549万円で、発注率にいたしますと98.4%となっており、計画しておりました工事の大部分の発注を終えたところであります。

発注済の工事につきましては、工事の早期完成に努めるとともに、労災事故の防止など、安全管理の徹底を図ってまいります。

また、今後の発注工事におきましては、冬季施工となりますことから、発注条件の整備など安全な工事の遂行に万全を期してまいりたいと考えております。

以上、当面する諸課題等につきまして、ご報告をさせていただきましたが、議員の皆様には、引き続き町政の執行に対しまして、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、行政報告とさせていただきます。